

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、昨日同様取引序盤こそ方向感のない時間帯が続いたが、堅調な米経済指標や米地区連銀総裁の各発言を受けて引けにかけてはドル買いが強まり、3.15台前半で取引を終えた。公表された昨年10-12月期(第4四半期)米実質国内総生産(GDP)確定値は前期比2.1%増と、改定値の同1.9%増から上方修正された(特に、寄与度の大きい個人消費が改定値の同3%増から同3.5%増へ上振れた)。また、クリーブランド連銀のMester総裁はシカゴで開催された講演において、景気が引き続き想定通りに改善した場合、「追加利上げが必要になるだろう」と発言(但し、「利上げのペースは2015年や16年のような年1度よりも加速する必要があるだろうが、全ての会合で利上げを決定するというものではない」との見解も示している)。ニューヨーク連銀のDudley総裁も、「財政政策が米経済を一段と押し上げる」と述べた他、「中長期的に経済成長とインフレ率へのリスクは上振れる公算が高い」と指摘している。

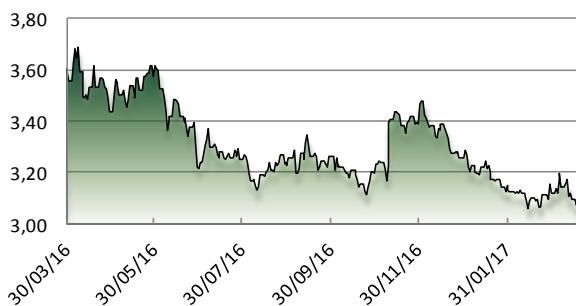
米格付会社Moody'sは昨日、ブラジル金融システムの見通しを(3月15日に決定されたソブリン格付見通しの上方修正に沿う形で)従来の「ネガティブ」から「安定的」に引き上げた他、「3年間の景気後退を経て、ブラジル経済は改善に向かっている」との見通しを示した。同社は今年の成長率見通しを+0.9%、来年を+1.5%と見込んでいる(インフレ率については、「引き続き急速に抑制される見込み」と予想)。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月29日	3月30日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,1197	3,1508	1,00%	1,30%	3,2912	3,0413
	対円	JPY	35,59	35,52	-0,20%	-1,44%	37,45	34,87
	対ユーロ	BRL	3,3585	3,3635	0,15%	2,38%	3,4639	3,2289
円	対ドル	JPY	111,04	111,92	0,79%	-0,18%	118,60	110,11
	対ユーロ	JPY	119,54	119,48	-0,05%	0,88%	123,73	118,24
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		65.528	65.266	-0,40%	-2,09%	69.488	59.371
CDS Brazil 5yrs	bps		229,00	228,16	-0,37%	2,68%	281,62	211,05
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		10,11	10,09	-0,20%	-1,46%	11,41	10,08
DI Future Jan18 (金利先物)	%		9,83	9,88	0,56%	-4,59%	11,51	9,80
3 Months US Dollar Libor	%		1,1468	1,1477	0,08%	8,89%	1,1568	0,9987
CRB Index (国際商品指数)	Index		185,21	185,52	0,17%	-2,83%	196,36	181,55

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

